

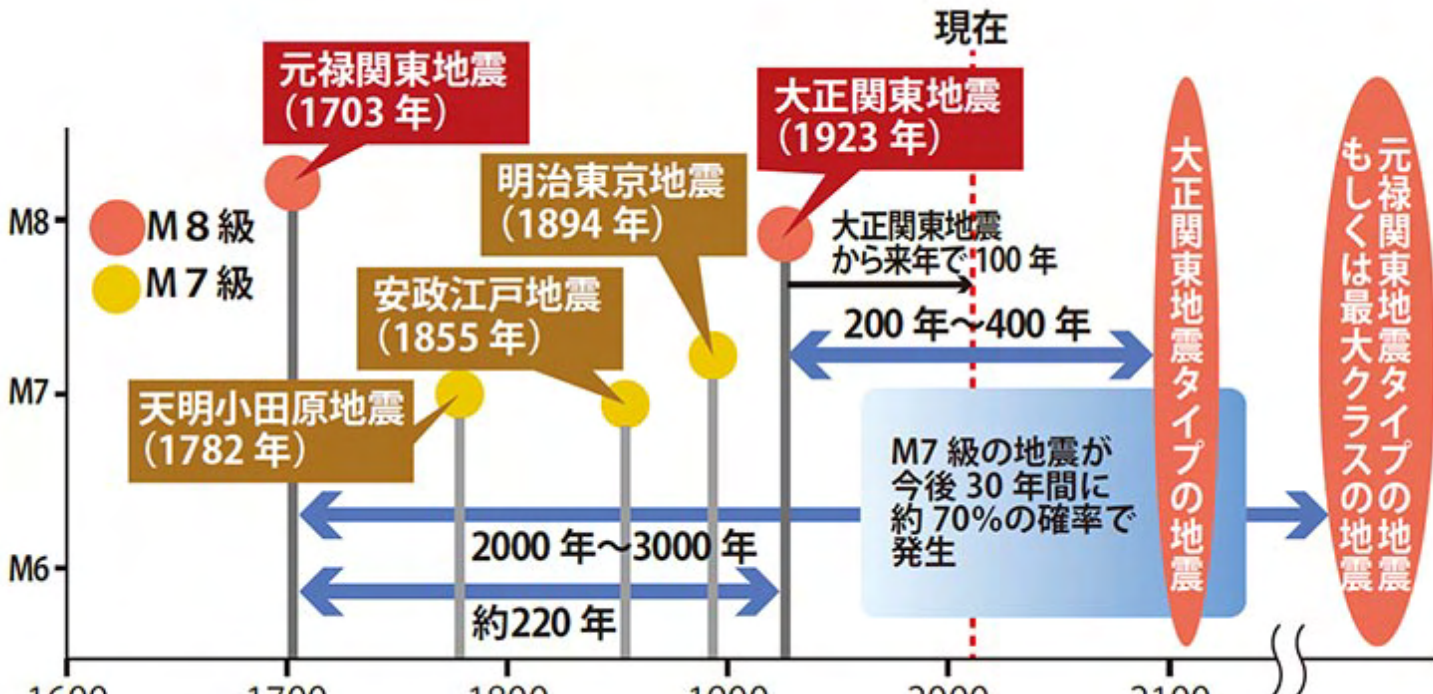


世界初！
空気の力で家を浮かす！！
～揺れない家が家族を守る～

「究極の地震対策住宅」の株式会社三誠AIR断震システムです。
株式会社三誠AIR断震システムは、株式会社三誠のグループ会社です。
両社の担当者と名刺交換させていただいた方々に配信しております。
※このメールはテキストメールでもご覧になれますが、HTML形式で配信しております。

首都直下地震はいつ起きてもおかしくありません

M7クラスの大地震の発生確率は、「今後30年間は約70%」



※地震本部 HP の図を参考に当社で作成

南海トラフ地震と並んで懸念されているのが首都直下地震です。首都直下地震の問題点は、人口が密集した地域であること、政治・経済の中心地域であることで、巨大地震の影響が地震の揺れによる被害に留まらず、社会機能が停滞することで経済的被害も大きくなることです。

上図は、首都機能が江戸に移ってからのM7、M8クラスの巨大地震を地震規模と発生年で示したものです。1703年に発生した元禄関東地震 (M8.1～M8.4) から、1923年の大正関東地震 (関東大震災、M7.9～M8.2) のM8クラス地震の間隔は220年です。来年は大正関東地震からちょうど100年目ですが、地震本部などの専門家は、M8クラスの巨大地震は200～400年間隔で発生すると予測、M7クラスの地震発生確率は「今後30年間で約70%」としています。正確な地震発生予測は不可能ですが、「いつ地震が起きても大丈夫」という備えをしておくことが重要でしょう。

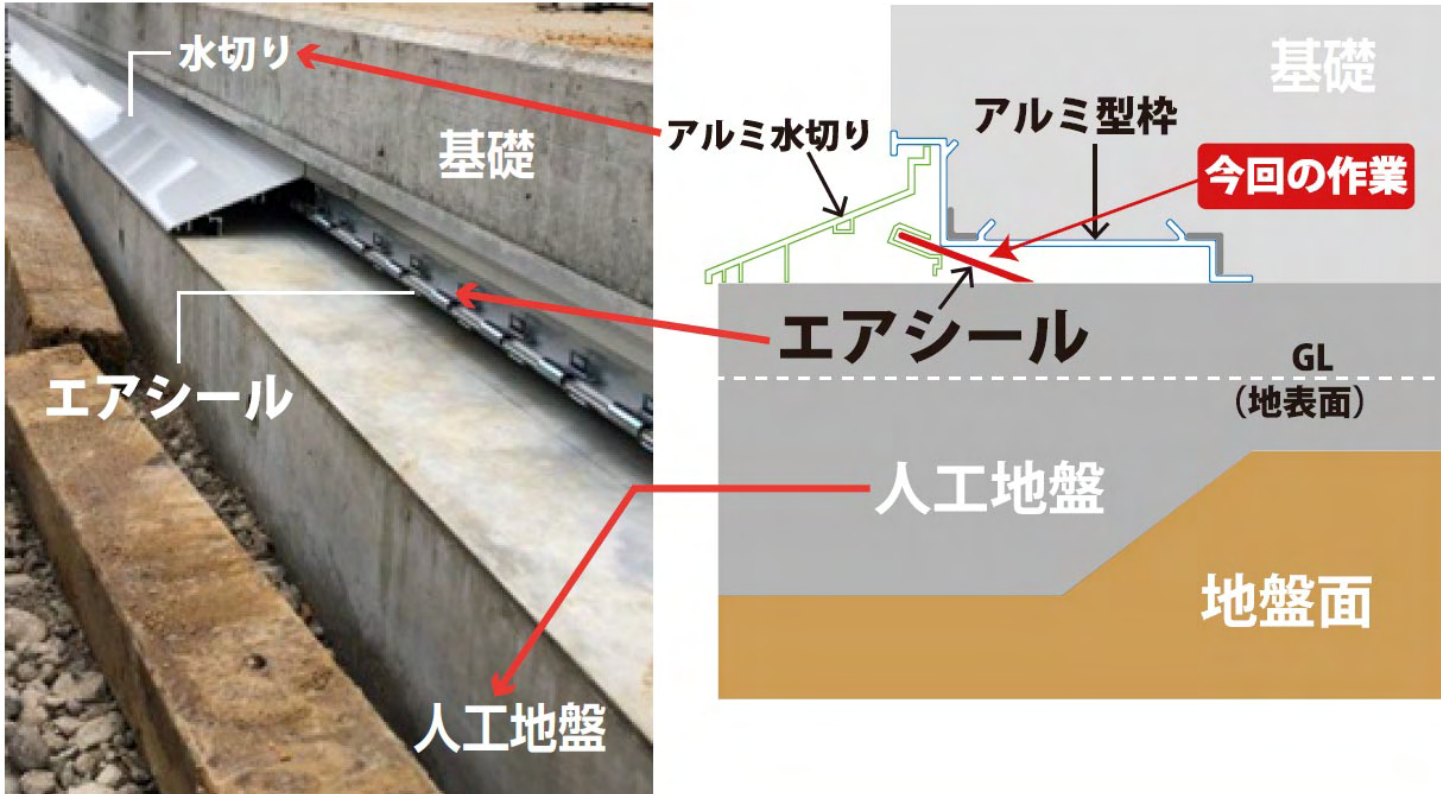


詳しくはHPへ▶

三誠エア断震システム施工現場レポート〈第3回〉

家を浮かせる心臓部構造「エアシール」設置

昨年7月の第5号では、「エアシール」取り付けの型枠工事を紹介しましたが、今回のレポートは、エア断震システムの最重要ポイントである「エアシール」の設置工程です。

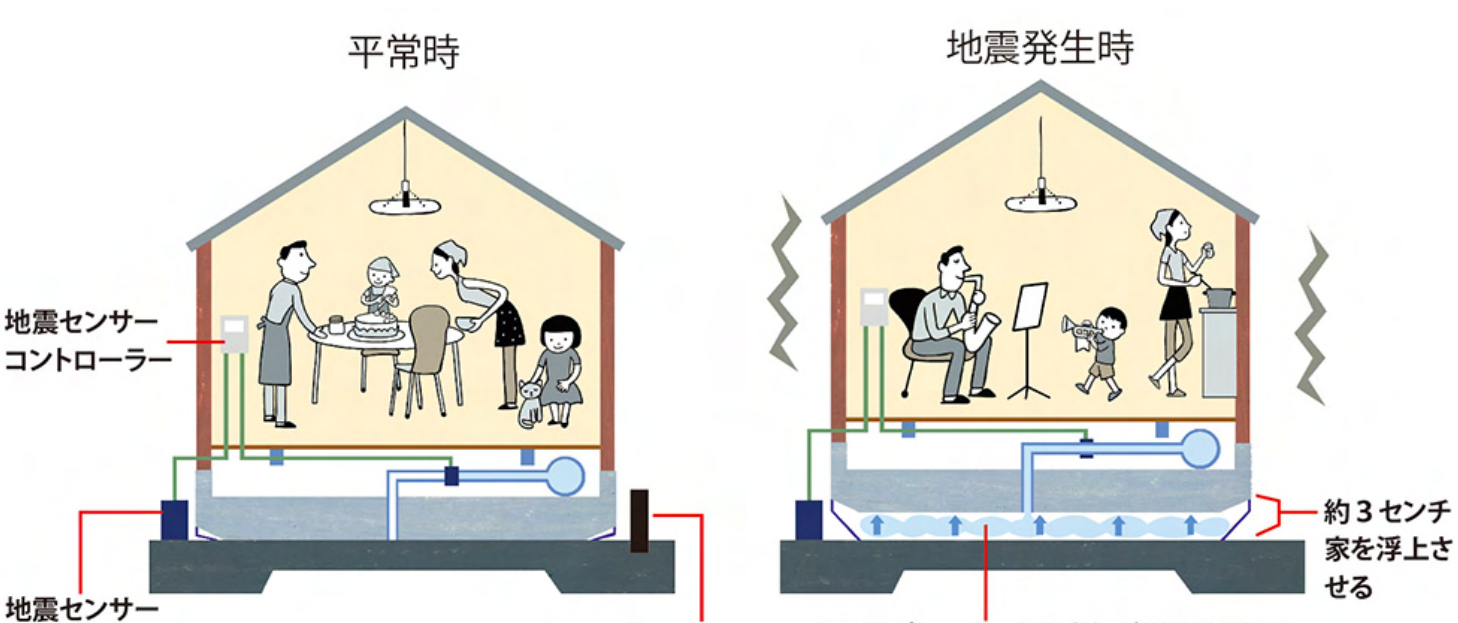


空気浮上というと、「エアバックのようなものが設置してあるの？」と思われるかもしれませんが、そうではありません。家の基礎下、外周部全体にこのエアシールを設置します。するとエアシールが空気を囲う壁となり、家を浮上させる空気層を生み出すのです。エアシールはまさに、エア断震システムの心臓部分になる構造なのです。



詳しくはHPへ▶

地震が起きたその時、家を浮上させいのちと家財を守る！「AIR断震システム」



空気の力で家を浮上！揺れを断ち切って命と家財を守る「AIR断震システム」▶

詳しくはコチラ▶

AIR断震倶楽部通信
バックナンバーはこちらから▶

「AIR断震」の詳しい
資料請求はこちらまで

「AIR断震」の効果を体感してみませんか。
関東に4カ所展示場があります。

大臣認定取得

2019年4月3日国土交通大臣認定を取得しました。

詳しくはコチラ▶

詳しくはコチラ▶

詳しくはコチラ▶

詳しくはコチラ▶

*こちらからお送りしたメルマガが、お使いのメールソフトのブロックサービスなどの誤判定により、「迷惑メール」とされてしまうことがあります。それを必着メールに変更する方法は、お使いのメールソフトにより異なりますが、Outlookの場合は、当該メールを右クリックし、「迷惑メール」を選択すると、「受信拒否しない」「差出人のドメインを拒否しない」と出てきますので、それを選択しておけば、必ず受信できるようになります。他のソフトをご使用の場合は、使用マニュアルや、インターネットを参照して「必着メールに」変更していただくようお願いいたします。

☆☆私たちは、地震災害から一人でも多くの命を守るのに本気です!!
この思いにご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。
最後までお読みいただき、ありがとうございました。

《送信者》
株式会社 三誠AIR断震システム
〒104-0033 東京都中央区新川1-6-1 2 M&Sビル3階
TEL: 03-3551-0272 FAX: 03-3551-0273
info@airdanshin.co.jp https://airdanshin.co.jp

※このメールの内容に関するご意見・ご質問はこちら